

令和5年度年間授業計画

教科:保健体育 科目:体育 校内科目名:体育3

対象年次:3

2単位

教科担当者:樋口弘明 山田裕史 椿原紗貴子 佐藤浩太 三野雅

使用教科書・教材

大修館「最新高等保健体育 改訂版」

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	①Ⅰ期(4, 5, 6月) 体育理論・体づくり運動 ゴルフ バレーボール フットサル ②Ⅱ期(6, 7月) 体育理論 ソフトボール バドミントン テニス 水泳	生涯を通してスポーツに親しみ、安全に楽しく行うことのできる、知識と技能を身につけることを目的とする。 体育2単位を2時間連続で行い、2クラス3展開の選択授業である。1年間を4期に分け、3種目の中から選択する。	評価の基本方針は、運動技能の高いものが高い評価を受けるのではなく常に全力で取り組んでいるものが高い評価を受ける。実技科目なので出席状況を重視する。各担当者の評価の合算点と出席状況を考慮して決定	24
2 学期	②Ⅱ期(9月) ソフトボール バドミントン テニス ③Ⅲ期(10, 11, 12月) 体育理論 アルティメット バスケットボール ユニホック ④Ⅳ期(12月) 体育理論・体づくり運動 グラウンド種目 体育館種目 テニスコート種目 フットサルコート種目	生涯を通してスポーツに親しみ、安全に楽しく行うことのできる、知識と技能を身につけることを目的とする。 体育2単位を2時間連続で行い、2クラス3展開の選択授業である。1年間を4期に分け、3種目の中から選択する。	評価の基本方針は、運動技能の高いものが高い評価を受けるのではなく常に全力で取り組んでいるものが高い評価を受ける。実技科目なので出席状況を重視する。各担当者の評価の合算点と出席状況を考慮して決定	28
3 学期	④Ⅳ期(1, 2月) グラウンド種目 体育館種目 テニスコート種目 フットサルコート種目 体育理論・体づくり運動 ※種目変更の可能性あり。	生涯を通してスポーツに親しみ、安全に楽しく行うことのできる、知識と技能を身につけることを目的とする。 体育2単位を2時間連続で行い、2クラス3展開の選択授業である。1年間を4期に分け、3種目の中から選択する。	評価の基本方針は、運動技能の高いものが高い評価を受けるのではなく常に全力で取り組んでいるものが高い評価を受ける。実技科目なので出席状況を重視する。各担当者の評価の合算点と出席状況を考慮して決定	18

指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定 授業 時数
		合計	70

令和5年度年間授業計画

教科:保健体育 科目:スポーツⅡ 校内科目名:スポーツⅡ サッカー
教科担当者:樋口弘明

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	(4月～7月) ①個人技能の向上を主眼とし、身体的能力や個人技術を中心に活動する。 ②個人戦術を理解する。 ③ルールを理解する。	体育系大学、短大、専門学校への進学希望者と、球技における競技力向上を目指す者を対象とする。 一年間通して活動し、サッカーの競技力向上のために、身体能力・個人技能・戦術理解・ルールの理解を高める。	1 競技力向上に向け、積極的 に取り組み、相互に協力しながら協調性をもって活動したか。 2 競技力が設定目標まで到達できたか。 出欠、学習態度、技能、ルールを理解したか等総合的に判断し評価する。	24
2 学期	(9月～12月) ①個人技能の向上に伴い、集団技能の向上と発展を目指す。 ②チーム戦術の理解を目指す。 ③ルールを理解する。	体育系大学、短大、専門学校への進学希望者と、球技における競技力向上を目指す者を対象とする。 一年間通して活動し、サッカーの競技力向上のために、身体能力・個人技能・戦術理解・ルールの理解を高める。	1 競技力向上に向け、積極的 に取り組み、相互に協力しながら協調性をもって活動したか。 2 競技力が設定目標まで到達できたか。 出欠、学習態度、技能、ルールを理解したか等総合的に判断し評価する。	28
3 学期	(1月～3月) ①個人技能の精度を高め、集団技能をより高いレベルへ発展させることを目指す。 ②ゲームにおける戦術理解を目指す。また、状況把握と状況に適した戦術修正ができる能力を育成する。 ③全員がルールを理解し、スムーズに試合を行えるようにする。	体育系大学、短大、専門学校への進学希望者と、球技における競技力向上を目指す者を対象とする。 一年間通して活動し、サッカーの競技力向上のために、身体能力・個人技能・戦術理解・ルールの理解を高める。	1 競技力向上に向け、積極的 に取り組み、相互に協力しながら協調性をもって活動したか。 2 競技力が設定目標まで到達できたか。 出欠、学習態度、技能、ルールを理解したか等総合的に判断し評価する。	18
合計				70

令和5年度年間授業計画

教科:保健体育 科目:スポーツⅡ 校内科目名:スポーツⅡバスケット
教科担当者: 三野 雅

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	(4月～7月) ①個人技能の向上を主眼とし、身体的能力や個人技術を中心に活動する。 ②個人戦術を理解する。 ③ルールを理解する。	体育系大学、短大、専門学校への進学希望者と、球技における競技力向上を目指す者を対象とする。 一年間通して活動し、バスケットボールの競技力向上のために、身体能力・個人技能・戦術理解・ルールの理解を高める。	1 競技力向上に向け、積極的に取り組み相互に協力しながら協調性をもって活動したか。 2 競技力が設定目標まで到達できたか。 出欠状況、意欲態度、技能や戦術、ルールを理解した等、総合的に判断し評価する。	24
2 学期	(9月～12月) ①個人技能の向上に伴い、集団技能の向上と発展を目指す。 ②チーム戦術の理解を目指す。 ③ルールを理解する。	体育系大学、短大、専門学校への進学希望者と、球技における競技力向上を目指す者を対象とする。 一年間通して活動し、バスケットボールの競技力向上のために、身体能力・個人技能・戦術理解・ルールの理解を高める。	1 競技力向上に向け、積極的に取り組み相互に協力しながら協調性をもって活動したか。 2 競技力が設定目標まで到達できたか。 出欠状況、意欲態度、技能や戦術、ルールを理解した等、総合的に判断し評価する。	28
3 学期	(1月～3月) ①個人技能の精度を高め、集団技能をより高いレベルへ発展させることを目指す。 ②ゲームにおける戦術理解を目指す。また、状況把握と状況に適した戦術修正ができる能力を育成する。 ③全員がルールを理解し、スムーズに試合を行えるようになる。	体育系大学、短大、専門学校への進学希望者と、球技における競技力向上を目指す者を対象とする。 一年間通して活動し、バスケットボールの競技力向上のために、身体能力・個人技能・戦術理解・ルールの理解を高める。	1 競技力向上に向け、積極的に取り組み相互に協力しながら協調性をもって活動したか。 2 競技力が設定目標まで到達できたか。 出欠状況、意欲態度、技能や戦術、ルールを理解した等、総合的に判断し評価する。	18
合計				70

令和5年度年間授業計画

教科:保健体育 校内科目名:スポーツⅠ 体育実技演習
教科担当者: 山田 裕史

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

プリント等を使用

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	1 オリエンテーション (入試内容説明・目標記録設定) 2 第1回記録会 3 ウォームアップ各種 (公式鬼ごっこ・縄跳・コオーディネーション等) 4 コアトレーニング 5 ウェイトトレーニング 6 バランストレーニング 7 ジャンプトレーニング 8 パワートレーニング 9 第2回記録会 10 球技種目(バレーボール・バドミントン・他) 11 水泳(4泳法)	体育系の大学、短大、専門学校などへの進学希望者を対象とし、入学試験に対応できる技能の修得を目指す。	1 進路実現に向け積極に取り組み 相互に協力しながら協調性をもち活動したか。 2 各種目の技能レベルが、一定の目標まで達成できたか。 出欠状況、意欲態度、技能技術等を総合的に判断し評価する。	24
2 学期	12 水泳(4泳法) 13 第3回記録会 14 反復横跳び・短距離スタート 15 50m走・ハンドボール投げ 16 立ち幅跳び 17 トレーニング各種 18 第4回記録会 19 マット運動 20 球技種目(バスケットボール・バレーボール・他) 21 入試に備えての個人練習	体育系の大学、短大、専門学校などへの進学希望者を対象とし、入学試験に対応できる技能の修得を目指す。	1 進路実現に向け積極に取り組み 相互に協力しながら協調性をもち活動したか。 2 各種目の技能レベルが、一定の目標まで達成できたか。 出欠状況、意欲態度、技能技術等を総合的に判断し評価する。	28
3 学期	22 第5回記録会 23 入試に備えての個人練習 24 入試に備えての最終調整 25 まとめ	体育系の大学、短大、専門学校などへの進学希望者を対象とし、入学試験に対応できる技能の修得を目指す。	1 進路実現に向け積極に取り組み 相互に協力しながら協調性をもち活動したか。 2 各種目の技能レベルが、一定の目標まで達成できたか。 出欠状況、意欲態度、技能技術等を総合的に判断し評価する。	18
合計				70